

2004.10.1

現代日本論講読

現代日本文化に関する論文講読

東北大学文学部
2004年度 VIセメスター
田中 重人 (講師)

【目的】

- 論文の探しかた
- 論文の読みかた
- プレゼンテーション
- 現代日本文化の知識

【予定】

- イントロダクション (10/1)
- 論文検索 (10/8, 22)
- 提示資料作成 (11/5, 12)
- 各論文の報告 (11/19 ~ 1/28)
(1本につき4人で2週間)

論文は、各自の興味にあわせて
受講者が選んだものから
日本語2 + 英語2
= 計4本の予定

録画しておいて、途中で見直す

【論文の読みかた】

- Scanning: 鍵概念 (定義・用例)
- Skimming: 構造 (目次)
- 図表
- ロジック(結論 - 根拠)

【報告の準備】

提示資料 (パソコン、OHP、スライド)

- 全トピックについて**要点を示す**
- 文字は大きく (最低でも 20pt)
- 飾りのない文字 (ゴシックなど)
- 文章をすくなく、**図を多く**

ハンドアウト (配布資料)

- 提示資料よりも詳しい情報を
- 論文としての体裁を整える
- 日付・授業名・報告者名・所属
を書く

【プレゼンテーション】

組み立てをよく考えて、練習する

報告用原稿をつくるか、
提示資料のコピーに
メモを書いておく

時間を厳守する

聴衆の反応を見ながら話す

**聴く側も報告者の顔を見て
反応を返す**

【質疑応答】

質問・コメントは、手を挙げて

要点をはっきりと

質問内容を整理して答える

【雑誌論文の種類】

雑誌の性質

Peer Review 制の雑誌か？

原著論文・研究ノート・調査報告...

投稿論文と依頼論文

【Peer review という制度】

投稿された論文を雑誌にのせるか：

- 新しい内容か？
- 有用性はどの程度あるか？
- 内容は正しいか？

専門家による審査 (review)

審査手続き

審査員をえらぶ (ふつう複数・匿名)

審査員に判断を求める

- 意見が割れた場合は編集委員が判断
- 「条件付」の場合は書き直して再提出・再審査

雑誌の権威が維持される

ただし掲載まで時間がかかる。

独創的な論文は載りにくい

【原著論文その他】

原著論文 (ふつうの論文)

研究ノート・調査報告など

原著論文より質は落ちるが、
速報性を要求されるもの

【投稿論文と依頼論文】

- 投稿論文.....
通常の手続きで投稿・審査
- 依頼論文.....
編集委員会の依頼で書く
(テーマのきまった特集論文など)。
審査のある場合とない場合がある。

- この授業では、peer review 制雑誌の原著投稿論文を主対象とする
- 最初の2本は日本語論文、あとは英語論文